E767Z036H23

MITSUBISHI

三菱避難口・通路誘導灯【蓄電池内蔵形】

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

形名 **KSH2751M** (B級・BL形・片面灯) **KSH4752M** (B級・BH形・片面灯)
KSH2762M (B級・BL形・両面灯) **KSH4764M** (B級・BH形・両面灯)

取扱説明書

お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止
- 器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)
- 器具やランプを布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)
- 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災・感電の原因)

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止
- お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。(火災・感電の原因)
- ランプに塗料などを塗らない。(ランプが過熱・破損してけがの原因)
- 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)
- ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。(ランプが破損してけがの原因)

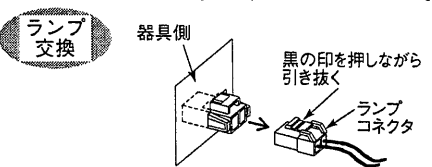
厳守
- 明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。

点検

■6ヶ月に1回、外観及び機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[消防庁告示第3号と第14号]
■消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第31条]
■24時間以上充電後、非常点灯持続時間が20分以下となったら蓄電池を交換する。

ランプ交換 器具の清掃

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う(感電の原因)

「各部のなまえと取付かた」の7,8を参照してください。

(1)端部カバーを左右にスライドさせて、表示板を取り外す。
(2)ランプのコネクタを外し、ランプホルダーからランプの両端部を持って外す。
(3)ランプ交換後、ランプホルダーに取付け、ランプコネクタを接続し、必ずリセットスイッチを押す。
(4)表示板を取付け、端部カバーを元に戻す。

適合ランプ CF220T4EN-M

⚠注意
○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない(高温のためやけどの原因)
○ランプはランプホルダーに確実に取付ける(取付けが不完全な場合落下の原因)
○使用済みのランプは不用意に割らない(ガラスが飛散してけがの原因)
○ランプの電線を引っ張らない(ランプ破損の原因)

⚠警告
器具・ランプを水洗いしない(火災・感電の原因)

○柔らかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとる。
○シンナー、ベンジン、磨き粉やたわし、熱湯、化学雑巾などは使用しない。

蓄電池の交換

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う(感電の原因)

器具形名	KSH2751M	KSH2762M KSH4752M KSH4764M
蓄電池	4N06DA	4N12DD

蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。

⚠警告
蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない
また、火中に入れない(やけどや衣類損傷の原因)

この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止
- 引火する危険のある雰囲気で使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)
- 器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)
- 配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁破壊により感電・火災の原因)

厳守
- 施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

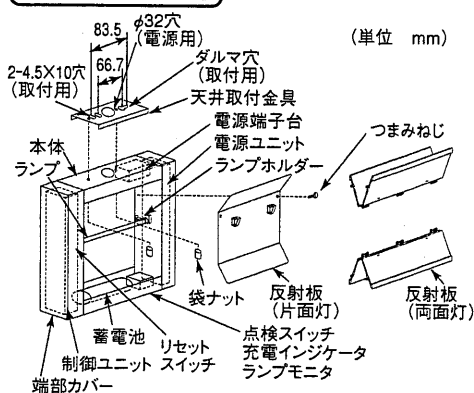
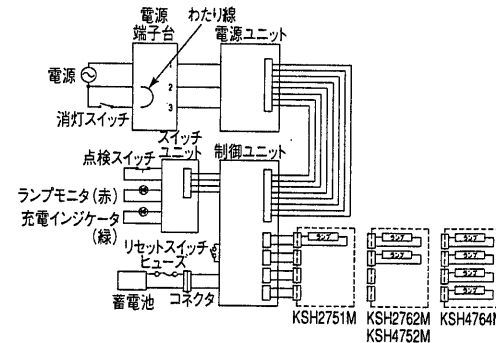
禁止
- 高温(35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。(落下・感電・火災の原因)
- さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。(劣化による落下の原因)
- 器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)
- 風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。(火災・感電の原因)
- 雨水のかかる場所で使わない。(水気・湿気が入り感電の原因)
- 表示された電源電圧以外では使わない。(火災・感電の原因)
- 器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。(絶縁不良により感電・火災の原因)
- 狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。(器具が過熱して火災の原因)

お願い

■周囲温度は5~35℃の範囲でご使用ください。
■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下することがあります。)
■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
■24時間以上充電していない場合は、ランプが正常に点灯しない場合(立消え、点滅、点灯時間が短い)がありますのでご注意ください。

定格

	平常時			非常時	
	KSH2751M	KSH2762M,4752M	KSH4764M	KSH2751M	KSH2762M,4752M,64M
使用ランプ	CF220T4EN-M				
	1灯	2灯	4灯	1灯	2灯
定格電圧	AC100V			密閉形 Ni-Cd蓄電池 4.8V 600mAh	密閉形 Ni-Cd蓄電池 4.8V 1200mAh
入力電流	0.14A	0.21A	0.35A		
入力電力	5.8W	9.9W	16.5W		
定格周波数	50/60HZ				

各部のなまえ

接続図

異常時の処置

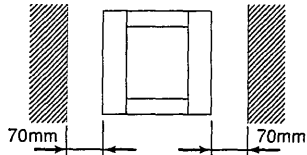
⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。
(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2728(施設照明営業課)
☎(0467)41-2773(品質保証部サービス課)

取付けかた

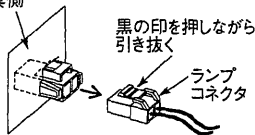
⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

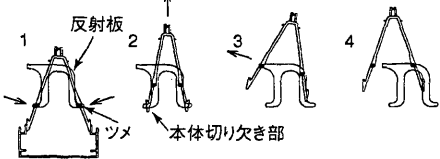
1 取付前の確認

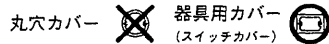
○器具質量に十分耐えるようねじ取付部の強度を確保する。
○取付工事のため次のように器具の両側に70mmの余裕を設けてください。

⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
（落下の原因）

2 取付準備

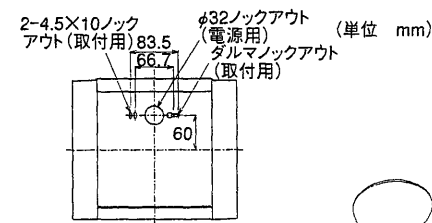
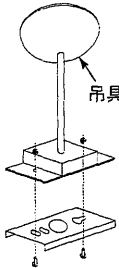
(1) 端部カバーを左右にスライドさせる。
(2) ランプコネクタを外す。
(3) ランプをランプホルダーから外す。

器具側
黒の印を押しながら引き抜く
ランプコネクタ

⚠注意
ランプの両端部を持って外す　（ランプ破損の原因）
ランプホルダーは手で広げない　（変形の原因）

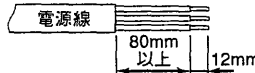
(4) 反射板を外す。
<片面灯の場合>
つまみねじ（2個）を外し、反射板を外す。
<両面灯の場合>
反射板を両手でつまみながら、器具の中心方向に引っ張り、本体切り欠き部に合わせてスライドさせて外す。（上下共に外す。）

3 器具本体を取付ける

(1) 使用する電源穴のノックアウトを外し、付属のコードブッシュをはめ込む。
<天井直付けの場合>
(1) 天井取付金具を取付ける。
ボックスに取付ける場合は器具専用カバーを使用する。丸穴カバーは使用できません。

(2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
(3) 本体を袋ナット（2個）で取付ける。

⚠注意
袋ナットは増締めする
（不完全な取付けは落下の原因）

<壁付けの場合>
(1) 次の寸法を参考にして取付ける。

<天井吊下げの場合>
別売の吊具を使用して取付ける。
(1) 吊具に天井取付金具を取付ける。
(2) 吊具を天井に取付ける。
(3) 本体を袋ナット（2個）で取付ける。

⚠注意
袋ナットは増締めする（不完全な取付けは落下の原因）
振動、風のある場所で使用する場合は、揺れる恐れがあるので、ワイヤーステーなどで補強工事をする
（落下の原因）

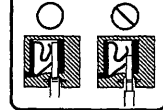
4 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線の皮むき寸法は右図のようにしてください。

シースは80mm以上皮むきしてください。
皮むきが不完全な場合、反射板の取付けができません。

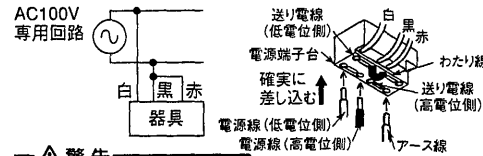
(2) 電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
電源線は電源端子台に押しつけるように小さく曲げる。

⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

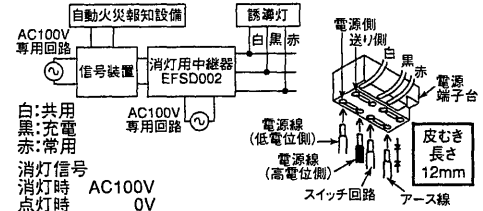
<D種（第3種）接地工事が必要です。>
○電源端子台の容量は20Aです
○適合電線：φ1.6mm単線　φ2.0mm単線

接続状態
○　⊘

⚠警告
送り配線は誘導灯専用とし、容量を確認して接続する
（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

<単相2線2線引き・平常時消灯しない場合>

⚠警告
分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない

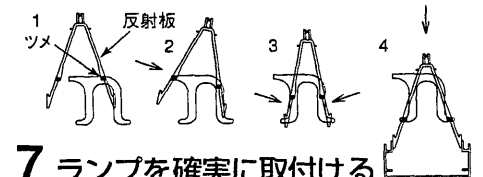
<単相2線3線引き・平常時消灯する場合>
・電源端子台のわたり線をはずす。

白:共用
黒:充電
赤:常用
消灯信号
消灯時　AC100V
点灯時　0V

誘導灯用信号装置等を用い、自動火災報知設備の動作と連動させてください。
○蓄電池のコネクタを接続後、通電してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。
■平常時消灯する場合は所轄の消防署の了解を得る必要があります。
■誘導灯消灯システム使用の場合は信号装置取扱説明書を参照してください。

5 蓄電池のコネクタを接続する

コネクタを確実に接続する。

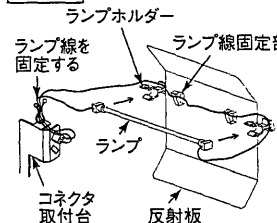
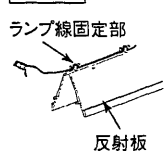
6 反射板を取付ける

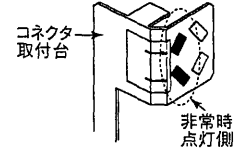
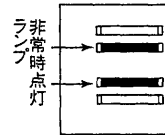
<片面灯の場合>つまみねじ（2個）で反射板を取付ける。
<両面灯の場合>反射板を両手でつまみながら、反射板のツメを本体の切欠きに入れ、切欠きに合わせてスライドさせて取付ける。

7 ランプを確実に取付ける

(1) ランプをランプホルダーに取付ける。
(2) ランプコネクタを接続する。

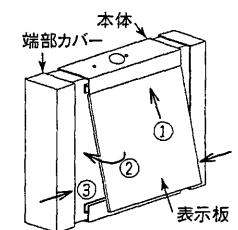
電源を通電する前は、ランプは点灯しません

(3) ランプ線を反射板のランプ線固定部に通す。余ったランプ線は、コネクタ取付台上下のランプ線固定部にまとめて、表示面に影が出ないようにしてください。

⚠注意
ランプ線は表示面から離して固定する
（表示面に影の発生する原因）

⚠注意
ランプは両端を持って着脱する
（ランプ破損の原因）

<KSH4764Mの場合>
○ランプは、内側の2灯が非常点灯するように取付ける。
○非常時点灯ランプのランプコネクタは非常時点灯側に接続する。

8 表示板を取付ける

①表示板を本体上側の溝に差し込む。
②表示板を下側の溝に落とし込む。
③端部カバーを元に戻す。

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

「ランプについて」
○暗い所で放置すると、周囲が暗い状態（数ルクス以下）では点灯しにくい場合がありますが、周囲を明るくすれば点灯します。
○周囲温度が5℃以下の場合、ランプの輝度、寿命が著しく低下します。
○多灯用のランプを交換するときは、全てのランプを一斉に交換してください。

「ランプモニタ」について
ランプモニタ（赤）
赤色のランプモニタは「ランプの寿命」をお知らせするものです。
ランプの累積点灯時間が60,000時間（ランプの寿命は約60,000時間です）に達すると赤色に点灯しますので、新しいランプと交換してください。
（注）ランプ外れ等の異常時にも点灯します。
この場合は、ランプ破損、コネクタ外れがないか確認してからリセットスイッチを押してください。

ランプモニタ（赤）
点検スイッチ